



平成25年 7月26日

四国地方整備局

## 四国地方整備局入札監視委員会第一部会の 審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会の平成25年度総会及び第一部会（第1回定例会議）を下記のとおり開催しました。

総会では委員長の選任と委員長代理の指名及び各委員の部会所属の指名が行われました。（別添名簿のとおり）その後、第一部会の定例会議が開催されました。

審議内容は、四国地方整備局（港湾空港関係は除く）が平成25年1月から平成25年3月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

### 記

開催日 平成25年 7月 4日(木)

会 場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

### 問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 三 枝 茂 樹 (内線2114)

契約管理官 今 城 敏 雅 (内線2222)

技術開発調整官 近 藤 秀 樹 (内線3120)

## 四国地方整備局入札監視委員会名簿

委員会役職	氏名	職業	所属部会
委員長 第一部会長	こん どう あき お 近 藤 光 男	徳島大学大学院教授	第一部会
委員長代理 第二部会長	こ たけ のぞむ 小 竹 望	香川高等専門学校教授	第二部会
委員 第二部会長代理	せき や とし ひろ 関 谷 利 裕	弁護士	第二部会
委員	おお にし ひとし 大 西 均	公認会計士	第一部会
委員	くに むら みのもる 國 村 年	香川大学大学院准教授	第二部会
委員	しば た じゅん こ 柴 田 潤 子	香川大学大学院教授	第一部会
委員	しま ひろし 島 弘	高知工科大学大学院教授	第一部会
委員	しら い いち ろう 白 井 一 郎	弁護士	第一部会

(委員は50音順:敬称略)

(注)第一部会は、港湾空港関係を除くものについて審議する。

第二部会は、港湾空港関係に係るものについて審議する。

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成25年7月4日(木) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員(部会委員5名)	部会長 近藤 光男(徳島大学大学院教授) 委員 大西 均(公認会計士) 委員 柴田 潤子(香川大学大学院教授) 委員 島 弘(高知工科大学大学院教授) 委員 白井 一郎(弁護士)					敬称略 委員は50音別
審議対象期間	平成25年1月1日～平成25年3月31日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争(政府調達協定適用対象工事)	平成24—27年度 鹿野川ダム選択取水設備施設外 新設工事	(株)安藤・間	2,583,000	2	92.33
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成24年度 南野山西谷堰堤群外工事	嶺北建設業(同)	173,250	1	96.62
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成24—25年度 波介川水門緊急閉鎖装置設備工 事	(株)日立製作所	223,650	1	98.55
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争	平成24—25年度 土器川堤防質的詳細調査業務	応用地質(株)	17,325	8	90.76
	簡易公募型プロポーザル	平成24—25年度 長安口ダムCSG試験施工解析業 務	日本工営(株)	35,700	1	99.97
役務及び物品	一般競争	平成25—27年度 国営讃岐まんのう公園運営維持 管理業務	まんのう公園マネジメント共同 体	1,101,240	2	85.05
○部会開催にあたり第一部会長に 近藤 光男委員長を選任した。						
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況 ④事務所ごとの平均落札率等(一般土木工事C等級)について					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備考						

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札(政府調達協定対象工事)	
意見・質問	回答
<p><b>平成24—27年度 鹿野川ダム選択取水設備施設外新設工事</b></p> <p>施工体制評価点については、低入札だった場合0点になるのか。</p> <p>調査基準価格が約87.5%というのは、割高な水準ではないのか。</p> <p>技術提案の優れた業者が、わずかな金額で調査基準価格を下回った場合、工夫の余地はないのか。</p> <p>低入札によって、業者が提出を求められる資料は膨大なものか。</p>	<p>調査基準価格を下回った場合、施工体制の確認のため、追加資料の提出やヒアリングを実施し、具体的かつ十分に施工体制を確保できることが証明されない限り0点とし、追加資料の提出やヒアリングに応じない場合は入札を無効としている。</p> <p>調査基準価格は、工事の最低の品質が確保できるであろうという全国的な基準である。</p> <p>追加で提出された資料等を基に施工体制を確認し、判断している。</p> <p>資料は膨大ではあるが、低入札になった場合には資料を作成しなければならないことを入札説明書に記載している。</p>
(2) 一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回答
<p><b>平成24年度 南野山西谷堰堤群外工事</b></p> <p>独占禁止法違反により4社が指名停止処分となり、残り1社になったが、改めて入札参加者の追加を行うことはしなかったのか。</p> <p>自分だけが残ったということは、分かっているのか</p> <p>事業協同組合で入札に参加しているが、下請けとして組合員のA社が入っており、その業者だけが工事を施工しているのか。</p> <p>A社単独でも入札に参加できるのか。</p>	<p>入札参加資格が有効である1社がいたので、一般競争での条件が成立しており、入札を執行した。</p> <p>入札にどの業者が参加しているかということは、わからない。</p> <p>今回の工事では、事業協同組合が受注した工事を組合員のA社が下請けする形になっているが、工事遂行能力があれば下請け業者の要件は問わない。</p> <p>資格要件を満たせば、A社単独の参加も可能である。</p>

<p><b>平成24-25年度 波介川水門緊急閉鎖装置設備工事</b></p> <p>今回の工事を落札した業者は、この装置を新設した会社か。</p> <p>設備の改修や修繕は、最初に設備を施工した会社が優位な傾向にあるのか。</p>	<p>そうである。</p> <p>そういう傾向にあるかもしれないが、施工可能な事業者の参加が得られるよう努めている。</p>
--	--

(3)簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)

意見・質問	回答
<p><b>平成24-25年度 長安口ダムCSG試験施工解析業務</b></p> <p>1社だけの入札であるが、その理由は。</p> <p>参加表明書の中で、事故及び不誠実な行為は-5点となっているが、どの様な場合を想定しているのか。</p> <p>特定した業者は、技術評価点が低く、その中でも大事と思われる特定テーマの点数が低いがどう考えるのか。</p>	<p>CSGは新しい技術であるが、同種業務及びコンクリートの配合をしている業者は何社か有り、厳しい条件を付けたわけではないので、業者の都合があったのかもしれない。</p> <p>現場での事故とか法令違反による注意措置を受けた場合を想定している。</p> <p>技術評価点はあくまで基本的なところはおさえてある上に加算するものなので、低いからだめということにはならない。</p>

(4)簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)

意見・質問	回答
<p><b>平成24-25年度 土器川堤防質的詳細調査業務</b></p> <p>この業務の評価方法で、技術点の割合に対して価格点の割合が低いのではないか。</p> <p>コンサルタント業務の地域要件に対する考え方を教えていただきたい。</p> <p>予定価格を業者からの見積もりに頼らずに、自分で設定すべきではないか。</p>	<p>コンサルタント業務は工事と比して、技術力に期待するところが大きく、このような評価方法となっている。</p> <p>業務内容によっては、本店が四国内に存在するかどうかということよりも、営業拠点に技術者がいるかが大切な場合もあり本業務は、四国管内に営業拠点を有するものとしている。</p> <p>サンプル数があるものについては標準歩掛を作成することが出来るが、サンプル数の少ないものについては難しい。</p>

(5)一般競争入札(役務・物品)	
意見・質問	回答
<p><b>平成25-27年度 国営讃岐まんのう公園運営維持管理業務</b></p> <p>入札者は2社とも共同体だが、どういう共同体か。</p> <p>技術評価点で差がついているため、価格で負けている共同体が落札しているが、技術評価点を重視している理由は何か。</p>	<p>2社とも業務分野が違う業者が集まった共同体であり、その内の1社には今までの受注業者も入っている。</p> <p>この業務は、業務分野が多岐にわたっており、その密接に関連する業務を、総合的な調整を図りつつ実施することが重要であるので技術評価点を重視した。</p>

2. 談合情報等の対応状況について

意見・質問	回答
特になし	

3. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回答
特になし	

5. 事務所ごとの平均落札率等(一般土木工事C等級)について

意見・質問	回答
特になし	

6. 全体について及びまとめ

意見・質問	回答
特になし	